



The Star in the West

東京西ワイズメンズクラブ会報

THESERVICECLUB FOR THEYMCA

THEY'S MEN'S CLUB OF TOKYO-NISHI(03)3202-0342

c/o TOKYO YMCA YAMATE CENTER,2-18-12 NISHWASEDA,SHINJUKU-KU,TOKYO 169-0051,JAPAN

- 国際会長主題 「世界とともにワイズメン」
- アジア会長主題 「100年を越えて変革しよう」
- 東日本区理事主題 「私たちは次の世代のために何ができるか？」
- あずさ部部長主題 「道を拓く～愛と協力によって」
- 東京西クラブ会長主題 「わからないこと、言いたいことは、何でも声に出しましょう！」

2022年2月号

NO 545

イエスは五つのパンと二匹の魚を取り、天を仰ぎ讚美の祈りを唱え、パンを弟子たちに渡して配らせ、二匹の魚もみなに分配された。すべての人が食べて満腹した。
マルコによる福音書6章41節

2月の強調テーマは、TOFとHTW

吉田 明弘

個人的なことでも恐縮ですが、私は「Time of Fast (TOF)」が好きです。一律な金額ではなく、経済的に豊かな国もそうでない国も、ワイズメンだれもが食事を1回抜き同じ痛みをもって、その金額を困難にある人に捧げるからです。

私たちの例会の食事は、普段は料亭のサービス弁当ですが、2月は、「おにぎり」だけにして、通常の食事代を献金しています。そしてこの運動を広く知っていただくために、卓話者にもビジターにもお付き合いいただいています。私は、これが年に2回あっても良いと思っています。

今回、確認のためにロースターの年間予定表を開いたら、なんと、2月の強調テーマに、「TOF」と共に、「Heal the World (HTW)」という聞いたこともないテーマが記されていました。まるで予約していた席に知らない人が座っているようで、「なんだよ」と言

う気分でした。ところがこれは、私の不勉強。今年度から、この運動が始まっていて、ロースターの用語解説にも記されていました。

「Heal the World (世界を癒そう HTW)」は、国際協会の国際統一プロジェクトで新型コロナウイルス後の世界を癒すためにより強い国際的関与と組織的な連携、連帯を構築して、私たちのボランティア力をより発揮することを目的にし、資金は TOF を当てる」のだそうです。私にとっては、具体的なこと、TOF との関係などがどうなるのか、気がかりです。

たまたまワイズ・ドットコムに、今年度の TOF のプロジェクトとして申請された 11 プロジェクトが審査されて 8 プロジェクトが決定したと、その審査方法が報告、説明されていました。きちんとやられているなど思いましたが、感じることもありましたが。



TOF



HTW

HTW については、正直言ってよく分かりません。唯一、具体的には韓国の医療チームが、カンボジアで医療活動を行う計画が進められていて、これを国際、韓国地域、日本が属するアジア太平洋地域の協働事業として捉えられているようです。私は、理念もさることながら、具体的な事業の報告を見ながら理解を進めていこうと思います。

TOF は 1972 年に開始され、今年で 50 年です。時代の変化に合わせて変化し、成長していくことが必要だと思います。

クラブ役員

- 会長 鳥越 成代
- 副会長 吉田 明弘
- 書記 本川 悦子
- 会計 石井 元子
- 担当主事 横山 弥利

1月の記録		ニコニコ	－円
在籍者数 12人 (内功労会員) 1人	メ ネット	－人	クラブファンド
出席者数	コ メ ッ ト	－人	ファンド残高 113,308 円
メーキャップ	ビ ジ タ ー	－人	ホテ校ファンド
出席率	ゲ ス ト	－人	ホテ校残高 23,200 円
内 Zoom 参加 0人	出席者合計	－人	WHO 参加者

2月TOF例会のご案内

**強調テーマ：Time of Fast (TOF 断食の時)
Heal the World (HTW 世界を癒そう)**

今月の例会は、食事代を厳しい状況にある方々のために献金します。

卓話は、メンバー村野絢子さんの早朝散歩仲間、建築家の岡部明子さんです。事務所を立ちあげ、インドネシア大学と国内3大学の学生とともにジャカルタの住宅密集地の環境改善のためのスケールの大きな仕事をされています。幅の広いお話を期待しています。知人、友人をお誘いの上ご出席ください。

日時：2月17日(木) 18:45~21:00

会場：ウェルファーム杉並 4F集会室

杉並区天3-19-16

03-5335-7318

会費：500円

担当：A班 石井元子、村野絢子、吉田明弘

申込：2月14日(月)、本川悦子まで

080-5171-1569

受付：村野 絢子

司会：石井 元子

会長 鳥越 成代

一 同

村野 絢子

会 長

一 同

開会点鐘

いざたて

聖書朗読・祈祷

開会挨拶・紹介

会食

卓話 『途上国のスラムに生き抜く知恵を学ぶ』

東京大学教授 岡部明子さん

質問

次年度クラブ役員承認

会 長

ハッピーバースデー

諸報告

会長 他

YMCA 報告

担当主事・横山 弥利

ニコニコ

閉会点鐘

会長 鳥越成代

ハッピーバースデー

1月7日 石井 信雄

19日 石井 元子

2月8日 高嶋美知子

次期クラブ役員候補決定
—1月事務会報告—

次年度クラブ役員候補を最終的に決定しました。例会で承認いただきます。

ホテル学校ファンドのために寄付されたマーマレードを販売しました。

日時：1月27日(木)

17:00-18:40

会場：ウェルファーム杉並

出席者：石井、大野、河原崎、篠原、高嶋、鳥越、本川、村野、吉田

<報告事項>

①1月例会は中止した。

②2月会計報告を承認した。

<協議事項・例会関係>

①例会・事務会予定を決めた。

・3月例会は東京世田谷クラブとの合同例会。詳細は先方の提案を待つ。期日は3月18日(金)になる模様。3月事務会は、24日(木)、YMCA ホテル学校で行う。

・4月例会は、長年地域で親しまれているタウン誌「ふちゅうファミリープラザ」の編集・発行

者・大沢稔さんをお願いする。

・5月例会の卓話は、法務相談も受ける舞台役者、氷室幸夫さんに「外郎売(ういろうり)と発声法」をお願いする。

・6月例会は、クラブ総会、ホテル学校留学生奨学金贈呈式、その他を予定する。

・7月例会はクラブ創立45周年記念例会日

<協議事項・例会以外>

①次年度役員候補を下記の通り決定した。

会 長 高嶋美知子

副会長 吉田 明弘

書 記 本川 悦子

会 計 篠原 文恵

直前会長 鳥越 成代

担当主事 横山 弥利

監 事 神谷 幸男

地域奉仕 村野 絢子

Yサービス 同上

会員増強 吉田 明弘

ユース 大野 貞次

国際交流 河原崎和美

WHO事務局 石井 元子

ブリテン 篠原 文恵

卓話者紹介

岡部 明子 (おかべ・あきこ) さん

東京大学大学院新領域創成科学研究科教授。東京生まれ、1985年東京大学工学部建築学科卒業後1987年まで磯崎新アトリエ(バルセロナ)にて建築などのデザインを手掛ける。2004年から千葉大学助教授などを経て、2015年から現職。著書に『住まいから問うシェアの未来』2021、『高密度化するメガシティ』2017、『バルセロナ』2010、『サステイナブルシティ EUの地域・環境戦略』2003、ほか

神谷 幸男

大野 貞次

吉田 明弘

②ASFなど今年度の7負担金を南東部会計に振り込む。

③秋に実施した今年度チャリティランの参加負担金25,000円をホテル学校に振り込む。

(書記代行・吉田明弘)



タリバンの心を動かした人たち

アフガニスタンの小学生に使
い終わった日本のランドセルを
贈る活動が行われていることは
知っていましたが、誰が、どのよ
うな背景でやっているかは、知り
ませんでした。1月の在京クラブ
新年会（1月号 p2）の特別講演で
この活動を行っている国際協力
NGO ジョイセフの甲斐和歌子さ
んのお話を聞くことが出来まし
た。当日甲斐さんを紹介されたの
が東京むかでクラブの桜井浩行
さんのパートナー、啓子さんとい
うことで、一層身近に感じまし
た。（吉田明弘）

* * *

国際協力 NGO ジョイセフは日
本で 50 年前に生まれた家族計
画、母子衛生などを啓蒙する団体
で、途上国を中心にこれまで 39
か国で幅広く活動しています。格
差をなくすために、女性を取り巻
く環境改善を行っています。その
活動の中心は持続可能なコミュ
ニティをつくるための「人づくり
」です。そのプロジェクトのひ
とつが、アフガニスタンにおけ
る。「ランドセル」のプレゼント
なのです。

アフガニスタンは、国民の半数
以上が飢餓状態です。海外からの
物資は主に武器や弾薬です。昨年
8月タリバンが権力を掌握し、国
際社会からの援助も滞りがちで
す。こういう状態になった時、一
番被害を受けるのが女性と子ど
もたち。女性は、男性医師に肌を
見せることが禁じられています。
女性医師は絶対数が不足してい

るので、病気に罹っても診察が容
易に受けられないのです。ジョイ
セフが支援している母子保健ク
リニックは、あの中村哲医師が銃
弾で倒れた地、ジャララバードに
ありますが、連日、栄養失調の子
どもや妊婦が受診しています。中
には母乳の止まった母親もいま
す。

小学校に通える子どもは少な
いのです。理由は、貧困、早婚、
治安、家族の理解不足、学校が遠
い、女性教師不足などです。ジョ
イセフは 2004 年から『思い出の
ランドセルギフト』を始めまし
た。日本の子どもたちの思い出が
詰まって大切にしているランド
セルをパキスタンの子どもたち
に贈るプロジェクトです。集ま
ったランドセルには事務局が新し
い学用品を詰めて現地に送ります
。これまでに約 24 万個を届け
ました。変化が生まれています。
ランドセルを受け取ることで
人々の意識にも変化が出てきた
そうです。ランドセルを受け取
ったことで、女の子も学校に通
うのが当たり前になった地域も
あるそうです。

イスラム主義勢力タリバンが
2021 年 8 月、勢力を奪還しま
したが、タリバンは、政治的に中
立で、なによりも「命」を大切に
するジョイセフの活動を認め再開
することができました。現在活動
しているナンガハール州は、タリ
バンの中でも穏健派が保健と教
育の重要性を認め、地域事業を推
進しています。ランドセルの配布

にはタリバンも立ち合い、公式に
賛同を示したそうです。女性医師
も全身を覆うブルカでなく、働き
やすいヒジャブ姿で働く許可を
得ています。

現在、日本のワイズメンでは、
国内ブラザークラブ関係のある、
東京むかでクラブ、神戸だいいち
ポートクラブ、石巻広域クラブが
協働で「思い出のランドセルギ
フト実行委員会」に参加してい
ます。日本のワイズメンズクラブ
に参加を呼び掛けています。

協力することに、あまり難しい
決めごとはありませんが、ランド
セルは、豚皮を一部だけに使った
ものでも宗教上の理由でアフガ
ニスタンには送れません。運賃は
横浜倉庫までは寄贈者負担、横
浜から現地まではセブンイレブ
ン・アメリカが受け持つそうで
す。ランドセルの定められた位
置にワイズの指定マークのシール
を貼るとか、先方の子どもが礼状
を送るために送り主の住所、氏
名を記すなど、簡単な規定チラシ
があります。初めは、実行委員
のクラブに問い合わせた方が良
いようです。

<註> ジョイセフ (JOICEP:)
は Japan Organization for
International Corporation in
Family Planning) の略です。こ
の原稿は、ジョイセフ発行の通
信、パンフレットからまとめまし
た。

ここに使用した写真は、ジョイ
セフの提供です。

マスクから 解放される日を待ちながら 鳥越成代

コロナ禍が始まってすでに2年が経ちます。オミクロン株は、げっ歯類の体内で進化したものではありませんかと指摘され、中国科学院大学の研究チームが、「オミクロン株は人間から新型コロナウイルスに感染したマウスで突然変異して、再び人間に感染したものと主張する論文が発表されています。

元日の新聞に載っていた、「感染症は歴史を変えてきた」という記事が気になりました。

8世紀ごろ 天然痘：日本で死者100万人。奈良時代に流行し権力者が次々犠牲に。18世紀末に種痘（予防接種）が発明され、1980年にWHOが根絶を宣言。

14世紀 ペスト（黒死病）：欧州の人口の1/3がなくなったともされる。労働力不足で農奴の地位が向上し、荘園制の解体や、ルネサンスにもつながったとされている。5000万人の死者がでて、労働力が希少となり、農奴の地位向上に伴う荘園制の解体などにつながった。

19世紀 コレラ：数百万人。英国やフランスで、公衆衛生が発達したり、都市が発展したりする契機になった。

20世紀 結核：日本で600万人以上。産業革命後、労働環境の「密」で、世界に急拡大した。

1918～ スペイン風邪（インフルエンザ）：5000万人。第一次世界大戦が、感染拡大の原因に。大戦終結を早め欧州から米国に。

1981～ HIV感染症・エイズ：感染者への差別、偏見の解消が世界的課題に。治療薬の進歩で致死率が下がり根治を目指す研究が続く。

2019～ 新型コロナウイルス感染症：

未来からは歴史をどう変えたかと語られるだろう？ HIV感染

症・エイズの時は、偏見が問題になったことなども思い出します。

そして現在コロナ。デルタ株や変異株、日々の生活の中で、子どもも大人もマスクをし、密にならないよう気を付け、外出も控えていることは、誰もが実行しているように思います。大きく口を開けて笑い合う子どもたちの顔が見たいですね。

川越クラブ利根川恵子さん 次期国際議員に当選

次期国際役員選挙が年明けに行なわれ、次期国際会長にデンマークのウルリック・ラウリドセンさんが選出されました。

川越クラブの利根川恵子さんが次期アジア太平洋地域選出代議員に当選しました。国際議会は15人の国際議員で構成されます。

YMCA TODAY

■国際ホテル専門学校は1月11日（火）から授業が再開。12月に合格発表があった国家資格レストランサービス技能検定に30人が合格。1月26日（水）には国家資格のブライダルコーディネーター技能検定3級試験に10人が受験しました。卒業まで残り3か月となった2年生の就職内定率は98.5%。10人の留学生も全員内定し2人を残すのみとなりました。最後までしっかりとサポートしていきます。1年生は全員がホテル実習期間中。実習を終えた2月から本格的に就職活動が始まりますが、既に多くのホテルの学内企業説明会が決定しています。

■10月に開催されたインターナショナル・チャリティーランの支援金により、はじめてウエルネス東陽町と山手ウエルネスで障がい児を対象とした「特別支援短期水泳教室」を冬休み中に実施。好評により春休みにも実施予定。他に、チャリティーランの益金は、障がい児の日帰りプログラム、放課後等デイサービス、障がい児を

今後の例会開催は

1月例会は、新型コロナウイルスの感染拡大予防のため中止しました。予定いただいていた卓話者にはご迷惑をおかけしました。楽しみにされていたみなさんも次回をご期待ください。

今後にもこのように急な中止や変更はあるかと思えます。時間的な余裕がない場合は、クラブ四役が、卓話者依頼窓口、例会担当者と連絡をとり、開催の是非を判断して、ご連絡することにします。

BF使用済み切手440g

今年度提出いただいた使用済み切手を集計しました。下記の通りでした

大野 230g、神谷 34g、篠原 115g、鳥越 30g、本川 10g、吉田 20g でした。ありがとうございました。（篠原文恵）

理解するための講演会等の支援に用いられます。

■Amazon「みんなでサンタクロース」プログラムに全国23のYMCAが参加。東京YMCAは、「孤食」をテーマに開催している子ども食堂「下町こどもダイニング」や、日本語支援「にじいろサポート広場」に通う子どもたちへのクリスマスプレゼントとして、お菓子や文具の支援をアピールし、51件の賛同が寄せられ、リストに挙げた全商品をご寄贈いただきました。

■バングラデシュの7つのYMCAが運営するNFPE（働く子どもたちの学校）はコロナ禍で休校中ですが、児童とその家族を支援するため、東京YMCAは国際協力募金から約12,000ドルを送金。現地では10月から12月の期間に、YMCAスタッフ、教師、ボランティアが各家庭を訪問し、7つの地域で計235世帯に、食料、教材、マスク等の支援物資を届けることができました。

（担当主事 横山弥利）

☆☆ インタビュー ☆☆102☆☆ 佐藤 重良さんに聴く

甲府21クラブ



一佐藤さん、いよいよ7月から東日本区理事ですね。

「どうぞよろしくをお願いします。理事のお話をおある方から頂いた時、私はまだワイズ入会8年目、自分のクラブ以外は全く知らない状態でした。仕事もありましたし、家族が病気で、私がそばに居なければ生活できない状態でした。この大役はとても無理と思いましたが。しかしクラブメンバーはじめ皆さんにご理解とご支援をいただけるならと、熟慮を重ねた上で決断しました」

一早速ですが、お生まれは。

「秋田県大館市です。秋田犬、きりたんぼは、県内でも大館が名高いのです。東京・渋谷の秋田犬のハチ公像が有名ですがハチ公記念館が実家の近くにありますよ」

一ご兄弟は。

「男5人、女3人の8人兄弟の7番目です。終戦後の貧しく散々な時代に育ててもらいました。小学校の給食で脱脂粉乳を飲んだことを覚えています。中学校では理科の先生に大きなこぶしで頭をぶたれたことがありました。『しっかり勉強しろ』との愛のゲンコツだったのでしょか。私はこの日から目が覚め、真面目に勉強を始めました。高校は兄たちが強く背中を押してくれて建築科のある能代市の工業高校に進みました」

一バスケットボールで全国大会を58回制した高校ですね。

「建築科を選んだのは兄が建築

業をやっていたので、将来兄弟で建設会社を開業しようという目標があったからです。通学は奥羽本線から五能線に乗り継いで1時間半。朝5時半に起き、冬は真っ暗で雪の積もった道を駅までラッセルです。3年間、母が凍（しば）れる朝も弁当を作って送り出してくれました。車中は時間がたつぷりあったので勉強が出来ました。途中から他校の女子生徒たちが乗ってくるので、楽しくもある時間でした。勉強は猛烈に頑張り、クラブ活動はブラスバンドのホルン担当、軟式テニス部のマネージャーをやりました」

一就職は東京ですか。

「1960年、学校推薦で大手建設会社に決まり、上京しました」

一今は、売上1兆円企業、スーパーゼネコンですね。

「東京都内の大きな現場に次々に配属され、1967年、山梨に転勤し、26歳の時、現場責任者となりました。1973年、日本の最大スーパーマーケットチェーンが甲府進出を決めたため、得意先の名門百貨店の大規模な対策工事を行い、オープンしました。この時の百貨店の責任者が、野々垣健五さん（現・山梨YMCA理事長、ワイズメン）でした。彼は30歳、こちらも32歳、若さをぶつけ合っただけの仕事でした。1987年まで、山梨営業所長として営業も見て、その後は、他営業所、本社事業本部、関係会社に歴任し、2007年に完全に退職し、甲府に永住を決めました。山梨は第二の故郷です。個人的には一級建築士の資格を1970年に取得し、兄たちに喜んでもらえました」

一ワイズに2014年に入会されたのは野々垣さんの紹介ですか。

「そうです。彼とは、ずっと付き合いが続いていました。YMCAもワイズも全く予備知識がありませんでしたが、奉仕の世界も経験してみようと入会しました。現役時代にロータリークラブに属していたことがありました」

一入会して感じられたことは。

「それまで子ども、弱者、苦しんでいる人が大勢いること、いろいろな善意の寄付行為が行われていることに目がいていなかったことに気づきました。人と人の交流、奉仕活動、例会の卓話などが人生を豊かにしてくれることも。難を言えば、書類、規定、規則、会議が多く戸惑っています。クラブ員が和気あいあいとおおらかに奉仕活動できるクラブライフであってほしい。規定、定款などはわかりやすくスリムに、国際との関係はメンバーにわかりやすくする必要があるように感じました」

一趣味は多彩ですね。

「ゴルフはハンデキャップ12でした。家では菜園もやり、クラシック音楽鑑賞、美術館回りも。今はすべて中断中です」

一座右の銘は。

「現場に行き・現物を視て・現実を認識して問題を解決する、三現主義です。絶対あきらめない、まずチャレンジして改善です」

一理事としての抱負は。

「『みなさんにご迷惑をかけないようにすること』が最重要課題です。私の理想ですが、ワイズメンズクラブは『自分のためになる』『例会に出席するのが楽しく待ちどろしい』そして『誰かのために奉仕できる』でありたいです」

一時間がないのが一番つらいですね。でも、区創立以来、25年間の区理事ホームクラブの平均メンバー数は24人です。甲府21クラブの場合は51人です。しかも元理事はじめワイズ盛りが揃っています。これは絶対の強みですよ。それにワイズは建築現場と似ています。毎日いろんな人が出入りしているし、熟練者も若手もいます。大きな声でどなっても聞こえないのです。トップダウンのようでボトムアップ。現場経験は貴重です。大いに期待しています。有難うございました。（吉田明弘）

思い出を辿って

幻の叔父と手紙で出会う

村野絢子

12年前に亡くなった叔母の遺品整理で、気になったが後回しにしてきた、大切な手紙の詰まった缶が包まれている風呂敷を取り出した。中には川口家の戦時中の歴史が詰まっていた。

祖父の俳句ノート、野口小太郎(祖母の兄)宛の小作人証、家族間の手紙やはがきの数々であった。雄平叔父(川口長男・母の弟)の早稲田工学部鉱山採鉱科の「鉱山測量学Ⅱ」と記された分厚いノート、三角測量・三角関数…。

生前、母と伯母の会話の間に度々「雄ちゃんが…」が出てきたのを思い出す。写真でしか会うことのない叔父は私の思い出にはいない。ところが、叔父の学んだ工学採鉱科は鉱山の採鉱・選鉱の実習で学ぶことに意味があるのだろう。

日本の鉱山福岡県田川郡大峯鉱山、札幌郡豊平石山鉱山、青森県日本鉱業上北鉱山、朝鮮平安南道日本鉱業成興鉱山のいずれも早大合宿寮宛である。学生の川口雄平から母川口まつへ母から息子に、何通もの葉書がお互いの状況を知らせ合っている。

「当鉱山の実習が終わり、夕張炭鉱を太田君と見学5日ほどいて、直ちに内地に向かい10日頃には帰宅できると思います。」等と記されている。ある葉書には「電報着いた。実習先の福岡から鷹の巣飛行場に向かい、2時間程会えた。」とある。

姉の清子(私の母)が、東京で出産し、生後3か月の妹慶子と2才の私の3人が飛行機で安慶に戻るの見送りに来てくれたのだった。昭和19年2月29日。これが母と叔父の別れとなった。その時、叔父は妹と私をしっかり抱いてくれたと後の母の手紙に記されていた。

この年の9月25日大学を卒業

し、直ちに日本鋼業に入社、朝鮮成興鉱山に勤務。12月27日入営令書が来て、仙台石巻船舶兵東部90部隊に入営したが、その後極寒の朝鮮からの長旅と新兵訓練の疲労、寒さにより発熱、急性肺炎となり戦病死した。24才の死であった。雄平叔父も多摩墓地に祖父母や伯母と川口家の墓に眠っている。手紙の中で優しい叔父の人柄に確かに出会った。



昭和18年撮影 左から母、妹、絢子

カントリーダンス

河原崎和美

一昨年秋からカントリーラインダンスを始めました。カントリーラインダンスとは、正式名称を「Country Western & Line Dance」と言い、並んで同じステップを踏むアイリッシュダンスが起源と言われています。アメリカ西部で発祥し、カントリーソングをウエスタンハットとブーツで踊ることで知られています。

今ではヨーロッパやアジアでも楽しまれていて、みな「同じ」ステップで構成されているので、どこに行っても同じように踊ることができます。社交ダンスのように衣装にこだわることなく気軽に踊れるのが特徴です。

しかしこれがなかなか難しく全くステップが覚えられません。そこでダンス好きな娘を誘うことにしました。週に一度、一緒に

通い、そして家ではYou Tubeを使って手取り足取り教えてもらい、一曲を何十回も練習してやっと数曲踊れるようになりました。頭を使い、身体を動かし30分で汗だくになります。

何かのテレビ番組で認知症予防には、頭と身体を同時に動かすことが効果的だとやっていました。まさにこのダンスが認知症予防にもうってつけのように感じています。お正月には孫娘も一緒に踊ってもらいました。ずっとダンスを習っていた孫娘は一度でステップを覚えて年の差をまざまざと見せつけられたものの、とても良い時間を過ごすことができました。

3月にはホテルでの発表会があるので、今はまずそれに向けて奮闘している毎日です。

編集後記

こんなに原稿不足に悩んだことはありませんでした。お願いした原稿は皆さん、早く出してくださいなのですが、とにかく、事件がないのです。他のクラブのブリテンからネタをもらおうと思いましたが、どれも同じです。わが家の井戸が枯れた時は隣家の井戸も池も水がないのです。

大学1年の時、新聞部において、学内で催された講演会の取材を命じられました。あまり面白くないので途中で戻ってきました。タバコを吸っていた4年生に、「どうだった」と聞かれ、「内容がありません。記事になりません」と言ったら、「どれくらい内容にないかも記事になるんだぜ、キミ」と言われました。

嘆くのではなく、クラブは事件をつくらなくては、編集者は記事を仕立てなければと思っています。(AY)